

2025（令和7）年度 事業報告書

社会福祉法人山鳩会
なごみの里

1. 理念・方針

（1）法人理念

①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、お互いにメリットのある関わりを築いていく。

（2）基本方針

①生産活動の充実と地域との連携をしていく

②心身の健康・安全を保持する

③利用者の主体性を培う

④利用者を中心に保護者・職員（施設）との信頼を深める

（3）中期目標（令和7年度～9年度）

工賃を維持しつつ、利用者個々の特性に応じたサービス提供を目指す。日々の日課や行事の場面を通して、地域生活に必要なスキルを獲得できるような支援を提供する。地域の活動に参加し、協力、連携する中で、事業所への理解を広め良好な関係を築く。

- ・新しく高齢者施設のシーツ交換の作業を始めるなど、作業開拓も行い、工賃の維持に努めた。
- また、自主生産品のなごみチップスの販売を通して、地域のお祭りやイベントに参加して地域への事業所理解につなげた。

2. 施設概要

（1）施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）

（2）利用定員 40名（現利用者数：43名）

（3）開所年月 平成21年4月

（4）施設規模 敷地面積 433.24㎡ 延床面積 494.9㎡
建物構造 鉄骨造二階建て 賃貸区分 民間より賃貸

3. 職員構成

(1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1 名
サービス管理責任者	1 名
支援員 (常勤職員)	6 名
保育士 (常勤職員)	0 名
調理員 (常勤職員)	0 名
事務員 (非常勤職員)	1 名※兼務
支援員 (非常勤職員)	9 名※内 1 名兼務
保育士 (非常勤職員)	0 名
調理員 (非常勤職員)	0 名
看護師 (非常勤職員)	0 名
理学療法士 (非常勤職員)	1 名※兼務
作業療法士 (非常勤職員)	0 名
合 計	1 8 名

※支援員 (非常勤職員) 1 名は事務員と兼務

※理学療法士 (非常勤職員) はみどりの森と兼務

(2) 嘱託

医師 (2 回／年)	1 名
看護師 (0 回／年)	0 名
理学療法士 (1 回／月)	0 名
作業療法士 (0 回／月)	0 名
合 計	1 名

4. 利用者状況

(1) 障害程度

	1	2	3	4	未定	合計
愛の手帳	0 名	1 6 名	1 4 名	1 2 名	0 名	4 2 名
身体障害者手帳	2 名					2 名
精神保健手帳	1 名					1 名

※身体障害者手帳・精神保健手帳と重複

(2) 年齢構成 (平均年齢 42.6 歳)

	19 歳以下	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	合 計
男	2 名	2 名	5 名	5 名	5 名	3 名	22 名
女	1 名	6 名	4 名	4 名	2 名	4 名	21 名
合計	3 名	8 名	9 名	9 名	7 名	7 名	43 名

最低年齢 男…19 歳 女…19 歳 最高年齢 男…78 歳 女…80 歳

平均年齢 男…44.3 歳 女…40.8 歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	国分寺市	調布市	所沢市	足立区	東久留米市	清瀬市	合計
37名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	43名

(4) 障害支援区分

区分	2	3	4	5	6	未定	合計
人数	7名	7名	11名	3名	0名	15名	43名

(5) 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所者	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4
退所者	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
月末数	43	43	43	43	42	42	43	43	43	43	43	43	514
延べ日数	946	989	946	989	882	924	989	946	989	989	860	989	11,438
延べ人数	830	846	831	884	735	796	863	786	836	778	704	805	9,694
出勤率(定員)	94.3	92.0	94.4	96.1	87.5	90.5	93.8	89.3	90.9	84.6	88.0	87.5	90.8
出勤率(現員)	87.7	85.5	87.8	89.4	83.3	86.1	87.3	83.1	84.5	78.7	81.9	81.4	84.8

5. 日課

(1) 月～金曜日

時間	内容
8:30～	登所・職員打ち合わせ・朝礼
9:00～11:40	作業・休憩
11:50～13:00	昼食・昼休み
13:00～15:10	作業・ラジオ体操
15:10～15:30	清掃・終礼
15:30～	送迎・帰宅

(2) 土曜日

8:30～	登所・職員打ち合わせ・朝礼
9:00～11:00	作業・休憩
11:00～11:15	掃除・終礼
11:20～	昼食
11:30～	送迎・帰宅

6. 重点目標

(1) 生産活動と地域との連携

- ①自主生産品の販売を通して地域イベントに参加し、地域交流を図り信頼関係を築く。
 - ・菖蒲まつりや社大祭など地域のイベントに参加し、地域交流をおこなった。
- ②地域の自治会や懇談会等に参加し、施設へのニーズを把握し、地域との連携を図る。
 - ・地域との協働した活動を行うために、恩多町福祉協力員との懇談会に参加した。

③作業種目

	作業種	作業内容	受注・納入先	稼働日	参加	6 年度収入	7 年度収入
外 作 業	回収	古紙回収	地域各所他	随時	9 名	2, 550, 539	2, 428, 197
	公園 清掃	中央公園・浅間山	東京都公園協会、 西武・武蔵野パート ナーズ	月 6 回	7 名	1, 546, 132	1, 249, 908
	水やり	水やり、草取り、 シート交換	白十字ホーム	随時	3 名	235, 104	678, 040
室 内 作 業	受注 作業	新光	新光(株)	随時	6 名	402, 500	205, 000
		ショッピング バッグ製作	(有)鈴木紙工	随時	全員	391, 267	504, 889
		袋詰め	ハイライト工業(株)	随時	3 名	0	45, 700
		チラシ配布	その他	適宜	7 名	20, 000	
		封入, シール貼り	平成の里	随時	全員	181, 589	273, 077
		段ボール組み立て	(株)カマタ	随時	全員	915, 641	509, 186
		耐震金具組み立て	(株)ティカトウ	随時	全員	257, 950	295, 768
自主 製品	チップス各種	市役所・富士見公民館 各イベント	週 2 ～ 3 回	8 名	584, 700	520, 850	
その他の事業		バザー等	適宜	全員	9, 180	29, 800	
				合計		7, 094, 602	6, 740, 415

④工賃支払い実績

	総額	平均額	最高額	最低額	パート・アルバイト
4月	659,648	17,484	32,298	3,940	56,926
5月	430,030	11,691	19,820	4,580	56,906
6月	205,020	5,427	8,880	1,870	64,004
賞与	199,500	5,281	7,000	3,000	
7月	220,000	5,723	9,610	1,950	64,560
8月	430,010	12,286	19,540	3,300	61,638
9月	280,000	7,738	12,880	2,010	59,272
10月	400,000	10,660	18,310	2,410	56,926
11月	430,170	12,040	18,640	1,940	64,516
12月	390,000	10,729	18,130	3,650	69,832
賞与	101,000	2,778	3,500	1,500	
1月	340,000	10,051	14,680	2,090	76,484
2月	390,030	11,080	18,220	1,460	64,996
3月	400,000	11,428	18,970	2,050	57,480
合計	4,875,408	134,396	220,478	35,750	753,540
平均	406,284	11,200	18,373	2,979	62,795

(2) 健康増進・衛生

- ①マッサージの活用、理学療法士のアドバイスによる、エアロバイク等の健康機器を利用した運動プログラムを提供し、成人病（肥満）やケガの予防・機能維持を図る。

- ・PT：4/16、5/24、6/18、7/29、8/21、9/13、10/22、11/22、12/11、1/17、2/26、3/25
- ・PTのアドバイスを聞いて、エアロバイクの負荷や時間を個別に設定し、ケガの予防や機能維持に努めた。

②らくらくリズム体操の講師による体操を定期的（12回/年）に実施し、運動の動機付けをする。

- ・リズム体操：4/11、5/9、6/13、7/11、8/8、9/12、10/10、11/14、12/12、1/9、2/6、3/13

③衛生面の充実を図る為、業者による定期清掃（空調機器や床等）を実施する。

- ・床面清掃：2/7、エアコン清掃：2/28

④歯科健診を実施し、必要に応じて歯石除去の通院を促す。また耳鼻科の通院も促し、個別の状況に応じて職員の同行も行う。

- ・歯科健診（なごみの里にて・折笠歯科医院）：2/12
- ・耳垢栓塞（くめがわ耳鼻咽喉科）：2/12、2/26

⑤毎月の体重測定等、健康状態を把握し、保護者や医療機関とも連携し支援する。

- ・健康診断（なごみの里にてあきつの園と合同実施）：6/10
- ・婦人科検診（マンモグラフィー・白十字病院）：9/2、9/16、10/21
- ・インフルエンザ予防接種（白十字病院から出向）：11/20
- ・体重測定：毎月月初

（３）安全・事故防止

①利用者の高齢化や身体状況の変化に対応した安全な施設環境を整えるために、施設内の環境整備や備品等の買い替え等を実施する。

②日々、ヒヤリハットの報告を徹底し、交通事故の起きやすい場所や時間帯を把握する。

③車両管理担当者を中心に車両の不良・部品の消耗等を確認し、事故を防止する。

- ・車両に異音等があれば担当者がすぐに車両整備工場に連絡をして、原因を調べ、迅速に対応し、事故防止に努めた。

（４）利用者個々に合わせた支援の充実

①各種行事の場面や日課を通して、買い物・身だしなみ・清掃・公共交通機関の利用等地域生活に必要なスキルを利用者個々に合わせて獲得できるように支援する。

- ・グループ外出などで公共交通機関を利用し、地域生活に必要なスキルを獲得した。

②利用者を取りまく支援者、関係機関（社会資源）を活用し、相互に連携しながら円滑な支援ができるようにする。

- ・相談支援事業所やグループホームの担当者と連携して、情報共有しながら利用者支援を行った。

③サービス等利用計画を参照し、家族状況等も考慮して利用者のニーズを探り、一人一人に寄り添った個別支援計画を作成し支援していく。

- ・サービス等利用計画が利用者支援の基本になることを理解して、個別支援計画を作成した。

（５）給食

①利用者の健康に配慮した食事提供等、給食会議を通して検討していく。

②施設の行事に合わせたメニューや装飾・演出等を工夫し、楽しめる食事の場を提供する。

③３事業所分の給食の下ごしらえをなごみの里の厨房で行うため、必要な設備の維持、新規購入をしていく。

④感染症予防をし、利用者・職員の安全に配慮し、食堂の環境を整える。

⑤栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

	熱量	蛋白質	炭水化物	脂質	カルシウム	ビタミン		
						B1	B2	C
計画	645.0Kcal	24.15g	95.45g	19.6g	104.4mg	0.36mg	0.30mg	35.0mg
実績	616.1Kcal	23.30g	92.00g	18.2g	105.6mg	0.40mg	0.30mg	33.3mg

(6) 作業

- ①作業に関わる補助器具も導入し、受託事業の効率化を図る。
- ②受託事業先の信頼を得られるよう努め、利用者が個々の力を発揮できる場面を提供する。
- ③作業種目

作業種目	内 容
受託事業	ショッピングバック加工、段ボール仕切り組み、耐震部品組み立て、白十字ホームのシーツ交換他
清掃事業	中央公園、浅間山公園、白十字ホーム水やり・除草作業
自主生産品事業	食品加工（なごみチップス）
回収等事業	資源回収、（新聞・雑誌・段ボール・古着・アルミ缶）
その他	自主生産品販売、段ボールの箱詰め（新光）等の出向作業

(7) 自治会活動

- ①行事や利用者に関わる施設内外の事柄に対し、利用者が意見や希望を伝えられる場を提供する。
- ②プロジェクターやタブレットを使用し、利用者に必要な情報を分かり易く伝えていく。
- ③定期的な自治会だけではなく、必要に応じて臨時で自治会を開く。
 - ・自治会では行事の行き先を挙げてもらうだけではなく、係活動の希望を聞いたり、ゴミの分別、生活マナーなどの確認も行った。

(8) 行事

①年間行事予定

日程	内容	場所	目的	人数
5月26日、 6月4、10、 23日、 7月1日	防災館	立川防災館	災害時を体験し、行動を学ぶ	57名
6月1、11、 13日	菖蒲まつり	北山公園	自主製品の販売と地域交流	9名
6月17日	グループ外出①	サンリオ ピューロランド	自立生活および社会生活を促す	12名
7月8日	日帰りバス旅行	江の島方面	利用者と職員で親睦を図る	61名
8月8日	夏祭り	なごみの里	夏らしさを体験（職員、利用者のみ）	55名
9月13日	トーコロ青葉祭	トーコロ青葉	自主製品の販売と地域交流	3名
10月4日	オータム・フェ スティバル 2025	希望の郷東村山	自主製品の販売と地域交流	3名

10月18日	白梅祭	白梅学園大学	近隣への障害福祉の理解の促進 および法人の事業のPR	3名
10月19日	大運動会	八坂小学校	体を動かし、他施設との交流を図る	54名
10月22日	グループ外出②	東京駅食べ歩き	集団行動や社会マナーを学ぶ	9名
10月 25、26日	社大祭	日本社会事業大学	近隣への障害福祉の理解の促進お よび法人の事業のPR	5名
11月3日	大運動会	八坂小学校	体を動かし、他施設との交流を図る	54名
11月16日	白十字フリー マーケット	白十字ホーム	地域との交流を図りながら、自主 製品を地域に広め収入を得る。	3名
11月25日	グループ外出③	スカイツリーと花 やしき	集団行動や社会マナーを学ぶ	20名
11月30日	法人連絡会設立 10周年イベント	東村山市立中央 公民館	地域住民及び関係機関等に連絡会 の理解を深めてもらう。	1名
12月9日	グループ外出④	多摩動物公園	集団行動や社会マナーを学ぶ	12名
12月19日	クリスマス会	なごみの里	季節行事を楽しむ	64名
1月19日	成人を祝う会	なごみの里	利用者の成人と人生の節目を祝う	38名
2月20日	グループ外出⑤	秩父、星音の湯	集団行動や社会マナーを学ぶ	6名

②クラブ活動

種目	主な活動場所	実施予定日
カラオケ	カラオケバンバン等	第1・第4火曜日
ボウリング	久米川ボウル	第2・第3火曜日
創作クラブ	なごみの里	第4火曜日
お楽しみクラブ	なごみの里他	第4水曜日

クラブ活動 5回（5・7・9・11・1月）

- ・ボウリング：5/13、5/20、7/14、7/16、9/2、9/8、11/11、11/18、2/3、2/10
- ・カラオケ：5/12、5/14、7/2、7/9、9/3、9/24、11/12、11/26、1/14、1/28
- ・創作クラブ：5/27、7/23、9/24、11/19、2/17
- ・お楽しみクラブ：6/3、7/29、9/29、11/27、2/4

7. 防災訓練

- ①災害時の利用者の安全を図る為、防災計画に基づき月1回の防災訓練を行う。
 - ②年1回防災館へ行き、様々な体験を通じて、災害時に備える意識を養う。
 - ③地域・関連機関と連携し、炊き出し訓練を実施し、地域にも防災の意識を啓発する。
- ・安否確認システムや災害用伝言ダイヤルを活用した防災訓練を行った。

8. 地域との関係

- ①自主生産品販売の作業を通して広域地域（市外も含めた）との連携を模索していく。
- ②地域のお祭り、小学校のイベント、自治会・懇談会や地元行事等に参加し、地域との連携・交流を図る。

- ③施設の開放行事（夏祭り・炊き出し訓練・らくらくリズム体操）への地域参加を働きかけるために、チラシ配布や掲示板を利用して、地域住民の参加を促していく。

9. 実習生の受け入れ

- ①地域の特別支援学校より実習を受け入れ体験の場を提供し、新規の利用者を獲得する。また、1年生のインターンシップも積極的に受け入れ、保護者や教員との関係性を作っていく。
- ②大学等の介護等体験実習を受け入れ、障害福祉に理解ある人材を養成する一端を担う。

10. 保護者会等との連携

- ①保護者が施設に対する理解・協力を頂けるよう、年に9回保護者会を開催する。8月と12月は保護者参加のイベントがあり、2月は個別面談があるため、実施しない。
- ②毎月の活動報告・予定表（なごみ便り）で施設の近況報告や情報提供を行う。
- ③保護者参加の行事や個別面談等を通じて、相互理解を深め、家庭との情報共有に努める。

11. 職員研修

- ①外部研修を積極的に取り入れて、職員の見識を広め、職員の質の向上を図る。
- ②東京都社会福祉協議会他関係機関、民間企業主催の研修会、ウェブ研修等も活用する。

研修名	実施日	主催	実施場所	参加者
社会福祉法人会計入門研修	6月18日	東京都社会福祉人材センター研修室	なごみの里ZOOM	福島
メンタルヘルス講習会（管理者向け）	7月11日	ソウェルクラブ業務部	なごみの里ZOOM	福島
サービス管理責任者基礎研修	7月23日、8月29、30日	公益財団法人総合健康推進財団 保険福祉研修センター	なごみの里ZOOM	荒関
サービス管理責任者基礎研修	7月23日、9月29、30日	公益財団法人総合健康推進財団 保険福祉研修センター	なごみの里ZOOM	島田
いい支援のために心身のリフレッシュをしよう	8月4日	東村山市基幹相談センターらーと	社会福祉協議会 地域福祉活動室	北田
強度行動障害支援者養成研修（基礎）	8月5日	公益財団法人東京都福祉保健財団	国際ファッションセンター	島田
副安全運転管理者研修	9月12日	東京都公安委員会	なごみの里ZOOM	黒須
工賃アップセミナー	8月19日、9月9日、10月3日	東京都福祉局障害者施策推進部	小平市福祉会館	福島
法人合同職員会議（虐待防止研修）	10月2日	山鳩会虐待防止委員会	ひなたの道	常勤・非常勤12名
リーダーシップ研修	11月11、12日	東京都社会福祉協議会 東京都福祉人材センター研修室	なごみの里ZOOM	鈴木
強度行動障害支援者養成研修（実践）	10月17日、11月5日、11月13日	公益財団法人東京都福祉保健財団	なごみの里ZOOM 東京都福祉保健財団	福島
介助者向け障害者歯科保健研修会	12月16日	東京都多摩小平保健所	なごみの里ZOOM	荒関

防火・防災管理講習	1月20日、 1月21日	東京消防庁・ 公益財団法人 東京防災救急協会	立川防災館	黒須
アサーティブコミュニケーション研修	1月22日	東京都社会福祉協議会	なごみの里 ZOOM	中田
介助者向け障害者歯科保健研修会	2月19日	東京都多摩小平保健所	なごみの里 ZOOM	中田

③研修部会主催の研修で虐待防止・権利擁護等の知識を習得し、日常支援に活かす。

12. 会議予定

種 目	回 数	内 容
職員会議	1回／月	施設運営・行事全般
評価会議	2回／年	アセスメントの見直し
給食会議	6回／年	委託業者・他施設との検討会議
ケース会議	4回／月	利用者個々のケース
個別支援計画会議	2回／年	個別支援計画の作成と見直し

13. 事業継続計画（BCP）

（1）防災

計画に沿った形で法人全体での訓練の実施、研修の実施を行う。また、定期的に会議を開催し、より実効性の高い防災対策を検討する。

（2）感染症

計画に基づき、連絡調整や対応手段を整理し、感染症発生時にも円滑に事業の継続または再開をするための体制づくりをする。

14. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、虐待防止、身体拘束の適正化、セクシャルハラスメント防止

（1）苦情解決

①利用者からの苦情解決実施要綱に基づき、苦情に対しては真摯に受け止め迅速且つ円滑な解決方法を見出せるよう努める。

②担当窓口及び第三者委員を掲示し、苦情解決への仕組みを利用者・家族へ周知する。

（2）個人情報保護

個人情報保護規定に基づき、個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、データの管理を適切安全に扱う。

（3）権利擁護・虐待防止・身体拘束の適正化

①人権の擁護、虐待防止等に関する運営委員会、担当職員を配置し、必要な支援体制の整備を行う。

②身体拘束の対策を検討する委員会を定期的に開催する。

③職員は、虐待防止の啓発・普及、身体拘束の適正化に関する研修を受講する。

（4）セクシャルハラスメント防止

担当職員を配置し、セクシャルハラスメントの防止、対応にあたります。

苦情解決

	氏名	連絡先
責任者	黒須 彩子	042-395-5700
担当者	福島 卓	同上
第三者委員	端山 幸子	同上

セクシャルハラスメント

	氏名	連絡先
責任者	黒須 彩子	042-395-5700
担当者（男性）	島田 治樹	同上
担当者（女性）	鈴木 祥奈	同上

虐待防止・身体拘束の適正化

	氏名	連絡先
責任者	黒須 彩子	042-395-5700
担当者	福島 卓	同上